

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい地図帳</p> <p style="text-align: right;">— 2 — 東書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○広い視野からわが国の国土を見渡す地図を複数配置し、日本の位置および範囲、領土を正確に捉えられるようにしている。</p> <p>○表紙裏や一部拡大地図により、国土の領域や都道府県の名義と位置、世界の主な大陸や行政区域、海洋について示されている。特に南西諸島の領域を大きく提示している。世界地図と地球儀の活用について、特設ページを設けている。</p>
<p>特色</p> <p>内容</p>	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <p>○凡例、さくいんの使い方や、方位、縮尺、地形表現について解説し、地図の基本的な読み取り方を「地図帳の使い方」として巻頭で複数ページにわたり示している。関東地方や沖縄県を例に取り上げ、県や地域の様子の読み取り方を示している。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力を育成する工夫〉</p> <p>○各種統計資料が豊富に示され、地域の特徴が比較できるようになっている。また、キャラクターの吹き出しにより、資料を見たり判断したりする視点を具体的に与えている。特定の地域や大都市の日本地図上の位置を示し、地理的位置を認識させようとしている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○基本図の読み取り方、地図の約束事、使い方などをキャラクターが吹き出しを使い解説している。「地球儀を使って調べる」のコーナーでは、地球儀を活用して活動する写真を示しながら、方位や距離、大きさや形の調べ方を具体的に示し、主体的な学習がすすめられるようにしている。</p> <p>〈わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉</p> <p>○わが国の世界自然遺産や世界文化遺産を写真や解説で紹介しながら地図上に位置を示している。また、旧国名とともに旧国名のついた食べ物や地域の祭りをイラストで紹介している。京都や奈良の中心部について寺社等を地図上にイラストで示し、国土や歴史に関心を高めるようにしている。</p>
<p>資料</p>	<p>○索引では、地名の種類が示され、記号により分類されている。</p> <p>○表表紙・裏表紙の折り込み地図により、国土の領域や自然災害を示している。</p> <p>○目次に学習する事柄や都道府県の区分、都道府県の形の特徴が示されている。</p> <p>○地図とともに、図や写真、イラスト等が同じページに掲載され、視覚に捉えやすく、資料としての使いやすさを追求している。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○国内外で50万分の1・100万分の1の縮尺と同じ図法で示されている。</p> <p>○県名や市町村名、地名表示が大きく表示されるとともにルビを使用し、国境や都道府県境等の色や線の太さが明瞭で判別が付きやすくなっている。</p> <p>○凡例や地図上で、山地や海が縮尺と地形により細かく段彩されている。</p>
<p>総括</p>	<p>○A4版のワイドな紙面で、文字や資料が大きく表示されている。また、カラーユニバーサルデザインに配慮した色使いで見やすくなっている。地図帳の使い方が巻頭にあり、段階を追って地図の見方が身につけられるようになっている。後半に資料ページや自然災害を考えるコーナー等をまとめて設けている。「さくいん」や統計資料には文字間や行間にゆとりがあり、見やすくなっている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p>楽しく学ぶ小学生の地図帳</p>		<p>46 帝国</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○我が国の東西南北端、排他的経済水域、近隣諸国の名称・位置・国旗等、日本とその周辺の概要が写真と共にとらえられるようになっている。 ○国土や周辺国を衛星写真や地図により俯瞰している。都道府県の名称と位置を作業をとおしながら確認できるようにしている。地球儀を使って距離や方位を調べる手順を具体的に示している。</p>		
<p>特色</p>	<p>内容</p>	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉 ○実際の地形をとらえた写真と比較しながら、「地図のなりたちとよくそくごと」により地図に親しめるようにしている。「地図帳の使い方」のページを複数設け、凡例、さくいんの使い方、方位、縮尺、地形表現等、地図の基本的な読み取り方が段階的に身につくようにしている。 〈思考力、判断力、表現力を育成する工夫〉 ○地形、気候、産業や歴史といった視点ごとの資料が日本地図とともに見開きページで示され、複数の資料を比較することができるようにしている。「トライ」やキャラクターの吹き出しにより資料を比較したり考えたりする視点を与えている。巻末で防災マップ作り取り上げ、地図を使った表現方法を例示している。 〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉 ○「チャレンジ」「クローズアップ」「トライ」といったコーナーが、地図のページの端に記載され、自ら考え調べようとするための工夫がみられる。3ページ大に大きくした巻末の世界地図、各国のあいさつ、世界の祭りの写真などを掲載し、児童の異文化理解に向けた世界への関心を引き出すようにしている。 〈わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉 ○わが国の歴史の主な出来事と関係する場所を示したり、旧国名と「薩摩いも」など旧国名のついた特産物のイラストを示したり、世界文化遺産の写真と位置を示すなどしている。また、各都道府県の「有名なもの」を取り上げ、国土や歴史に関心を高めるようにしている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○索引では、地名が色や記号によって分類されている。 ○地方図で、その地方の防災に関する情報を詳しく取り上げている ○表紙の裏に都道府県区分の地図があり位置や名称を確認しやすくしている。 ○「私たちの地球」というコーナーには、六大陸と三海洋が一目で分かるように示されており、地球儀を使って距離や方位を調べる手順が示されている。</p>		
<p>表記・表現</p>	<p>○日本のほとんどの地方を100万分の1の縮尺で表し、市街地・田・畑等がわかる土地利用表現と地形の分かる高さで色分けされている。 ○地名表記は国語で学習する書体の漢字を使用し、ふりがなをつけている。 ○地図上で、陸地が6段階、海洋が7段階に統一して段彩されている。</p>		
<p>総括</p>	<p>○各ページの横に、「日本列島」「九州地方」「関東地方」「世界」といったインデックスを設け、どこの地方を表している地図なのか明確にしている。ほとんどの地方を同じ100万分の1の縮尺で表しており、都道府県が同縮尺で比較できる。地方別の地図では、その地方の防災に関する情報などを取り上げている。巻頭では段階を追って地図の使い方が身につけられるようになっている。</p>		